

法人理念	✿キリスト教精神に基づいて子どもの人権や主体性を尊重し、一人ひとりがより良く育つことを大切にする。 ✿保護者や地域社会と力を合わせて、児童の福祉を増進し家庭支援を行う。 ✿職員は豊かな愛情をもって接し養護と教育の一体化を図るため、より一層専門性を高め技術向上に努める。						
営業時間	8時45分～17時	療育日時	毎日 9時30分～13時30分	送迎	無	給食	有
支援方針	テーマ「大きさ」を通して考えること(大きい・小さい)の発達を促す 自分の手形、友だちの手形、先生の手形を比べて、“おおきい” “ちいさい”を目で見えて楽しみながら比較していく。						

項目	支援内容	
本人支援	健康・生活	自分で出来ることは自分でしようとする ・排泄、手洗い、着脱など、手伝ってもらいながらできるところを自分でしていく。排泄の間隔を担当がつかみ、そのタイミングに合わせて排泄に誘う。パンツで過ごすことに慣れる。 ・食事後、自分で口拭きシートを使って、口が拭けるように援助する。 スプーンの操作、コップで飲むことに慣れていく 作業療法士の手立ての元、スプーンの操作やコップで飲むことに少しずつ慣れていく。
	運動・感覚	体全体を使ってあそぶ ・段ボールブロックを高く積んで遊ぶ中で、立ったり、ひざ立ちをしたり屈伸運動をする。 ・パラシュートを使って腕を上下に動かしたり、大きなボールと小さなボールを追いかけたりする。 ・わらべうた、体操、音楽療法など動作模倣を促す。 ・巧技台、トンネル、ゴムくぐり、パラシュート、タオルブランコなど粗大による感覚刺激を取り入れる
	認知・行動	分類する 1対1のマッチングを行う ・マッチング課題を通して大きな○△□と小さい○△□の弁別をしていく。 ・入れ子を通して小さい順に積み上げる、また小さい順に中に入れる。
	言語 コミュニケーション	「おおきい」「ちいさい」「たかい」「ひくい」など大きさに関連した言葉をつかう ・大きな物にたくさん触れる。比較する（大きいくま、小さいくま）（自分の手形、友だちの手形、先生の手形） 2つを比べてどちらが大きい小さいか、高いか低いかを感じたり、言葉に出来るように比べる物をたくさん設けておく。
	人間関係 社会性	保育園児との交流を通して触れ合いあそぶ ・保育園で行っている大きさに共に触れる。 ・ ごっこあそびに参加し応答的な言葉のやり取りが出来るようにする。 自他の区別がつく 自分のマークを理解し、ロッカーや椅子、座る場所もわかり、お休みの友だちに気付き言葉にする。
歌・絵本など		絵本 「おおきい、ちいさい」 「どうぶつのおやこ」 うた おおきなたいこ 大きな栗の木の下で 月 わらべうた ももや おふね こっちのたんぼ おちょづ 体操 がっちりガード ぼんたのおなか 音楽療法 げんきにげんきに おなかをぼん
家族支援		モニタリング 個別支援計画 クラス懇談会
職員の質の向上		・大阪府サービス管理責任者等基礎研修・相談支援従事者初任者研修 ・PECSワークショップ研修・エルム大阪「豊かなこどばを育むために」
主な行事等		・クラス懇談会 10/23(木) ・ペアトレ 10/17(金)第1回 10/31(金)第2回